

九州医療科学大学公開講座

募集要項

今年度の公開講座タイトルは、「大学からの情報発信2025～臨床心理学部から地域の方々へ～」です。九州医療科学大学は、設立以来、地域の皆さまと共に歩み、公開講座も今年度で25年目（25回）を迎えました。この間、大学では地域交流、研究、学生教育等に鋭意に取り組んでまいりました。今後も、大学内の知的財産、各学部・学科における研究内容等を地域の方々にもっと知って頂き、地域との交流を更に深めていきたいと思っております。

今年度は、「臨床心理学部からの情報発信」です。

受講して
みませんか？

～ 日 程 ～

<7月19日(土)午前10時～10時20分>

公開講座開講式

<7月19日(土)午前10時20分～12時>

① 認知症の“意外な始まり”

:話し方や“見え方”がカギかも？

講師 伊藤 さゆり （臨床心理学部臨床心理学科講師）

<8月23日(土)午前10時～12時>

② 認知症と健口の関係

講師 中村 真理子 （臨床心理学部臨床心理学科教授）

<9月27日(土)午前10時～12時>

③ そなえよう！みんなとベットの災害対策2025

講師 加藤 謙介 （臨床心理学部臨床心理学科教授）

<10月18日(土)午前10時～12時>

④ 哲学への誘い

講師 横山 裕 （臨床心理学部臨床心理学科教授）

<11月29日(土)午前10時～12時>

⑤ 大切な人とのお別れとグリーフサポートを考える

講師 染矢 真実 （臨床心理学部臨床心理学科講師）

<12月20日(土)午前10時～11時30分>

⑥ 健康維持のための口腔機能と身体バランスの関係

講師 倉澤 美智子 （臨床心理学部臨床心理学科准教授）

<12月20日(土)午前11時30分～12時>

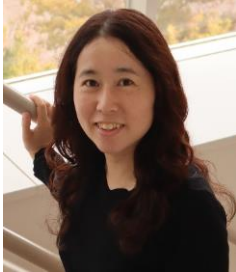
公開講座修了式

～講師概要～

<7月19日（土）午前10時20分～12時> 【認知症の“意外な始まり”

：話し方や“見え方”がカギかも？】

講師：伊藤 さゆり（いとう さゆり）臨床心理学部臨床心理学科 講師



「認知症＝もの忘れ」だけではありません。実は、言葉がスムーズに出なくなったり、見え方に違和感を覚えたりすることが、認知症の最初のサインとなる場合もあります。

本講義では、そんな意外な始まり方をする認知症について、具体的な事例を基に紹介します。「もしかして？」と思ったら、どうすればいいのでしょうか？病院での検査や、周りの方のサポートについても分かりやすく解説します。

早期発見と適切な対応が、その後の生活の質を大きく左右します。この講座が、認知症の多様性を知っていただく機会となり、「もしかしたら」という新たな気づきにつながることを願っています。

<8月23日（土）午前10時～12時> 【認知症と健口との関係】

講師：中村 真理子（なかむら まりこ）臨床心理学部臨床心理学科 教授



お口の機能の低下は、認知症の発症と関連するといわれています。しかしながら認知症の治療方法は残念ながら未だ確立されておりません。そのため認知症の前段階である軽度認知障害の状態からお口の機能を維持向上することが重要であると考えられています。本日はまずお口の機能の低下というのはどのような状態であるのかについてご説明いたします。次に簡単なチェックシートならびに舌圧測定器によりご自身の現在のお口の状態を確認していただきます。そして最後にお口の機能を維持向上する方法についてお伝えしたいと思います。

<9月27日（土）午前10時～12時> 【そなえよう！みんなとペットの災害対策2025】

講師：加藤 謙介（かとう けんすけ）臨床心理学部臨床心理学科 教授



毎年のように災害が発生する中、災害時の「ペット（家庭動物）」への対応に関心が集まっています。ペットを飼っている人も、飼っていない人も、年齢や性別、病気・障がいの有無にかかわらず、誰もが助かる「インクルーシブな防災・減災」を実現するには、どのような備えが必要でしょうか？

2024年に宮崎県で起きた災害事例をもとに、「人もペットもみんなが助かる防災・減災」について、皆さんと一緒に考えていきましょう。

<10月18日（土）午前10時～12時>【哲学への誘い】

講師：横山 裕（よこやま ゆたか）臨床心理学部臨床心理学科 教授



哲学は特別な知識を持つ人だけのものではなく、誰もが日常の中で自然に行っている「考えること」の延長にあります。この講義では、哲学とは何かを紹介し、古今東西の哲学者たちの問いかけを手がかりに、皆さんが自分自身で哲学の扉を開きたくするようなお話をいたします。

<11月29日（土）午前10時～12時>【大切な人とお別れとグリーフサポートを考える】

講師：染矢 真実（そめや まみ）臨床心理学部臨床心理学科 講師



大切な人とお別れしたときの反応（グリーフ）について座学とワークショップ形式で学びあいます。

※持参するもの：ハサミ、のり、コラージュ用の素材（写真入りの雑誌、カタログやパンフレットなど切りぬいても良いもの）

<12月20日（土）午前10時～11時30分>【健康維持のための口腔機能と身体バランスの関係】

講師：倉澤 美智子（くらさわ みちこ）臨床心理学部臨床心理学科 准教授



日本が2040年に4割以上が75歳以上の高齢者となる超高齢化社会を迎えるにあたり、高齢者の身体機能や口腔機能の低下増加が考えられます。国は「21世紀における第二次国民健康づくり運動」と称し、高齢化の進展による医療・介護に係る負担軽減に基づく取り組みを行っています。今後の日本にとって、高齢者の健康寿命を延ばし、社会保障負担を軽減するためには、身体機能や口腔機能を維持し、改善するための効果的なプログラムが必要であると考えられます。本講義では、言語聴覚士の立場から、口腔機能や身体バランスの向上に向けた日々のトレーニングの大切さについてお話します。これからの超高齢化社会に負けない健康維持や皆様の生活の質の向上につながるお手伝いができればと考えております。

= 募 集 要 項 =

2025年度九州医療科学大学公開講座の全体テーマは、
「大学からの情報発信2025～臨床心理学部から地域の方々へ～」で、全6回シリーズです。
6回まとめた募集ですが、都合のつかない講座は受講されなくても構いません。
受講を希望される方は下記により事前にお申し込みください。

～応募方法～

※いずれかの方法でお申込ください。

- ① 郵 送 : 〒882-8508 宮崎県延岡市吉野町 1714-1 九州医療科学大学
公開講座委員会事務局宛に、往復はがきで「郵便番号・住所・
氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」を記入し申し込んでください。
(復) はがきにも返信宛先を書いてください。
- ② F A X : 0 9 8 2 - 2 3 - 5 5 3 0
九州医療科学大学 公開講座委員会事務局宛
「郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」をご記入の上、
上記 F A X 番号に送信してください。
- ③ E-mail : kums-event@office.jei.ac.jp
※ 必ず件名に「公開講座申込」と記載してください。
「郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」をご記入の上、

上記アドレスに送信してください。
- ④ 申込フォーム : 左記 QR コードを読み取り、必要事項を入力し、送信してください。



・ 申込締切 7月9日（水）必着でお願い致します。

～受講について～

- ・ 定 員 定員は200名です。※高齢者（65歳以上）の方を主に対象としていますが、それ以外の年齢の方も受講できます。
- ・ 受 講 料 大人2,000円、高校生以下500円
全6回シリーズの受講料で、受講回数に関係なく定額です。
なお、受講料には資料代を含んでいます。
受講料は初回の公開講座実施日（7月19日）に徴収します。
- ・ 受講連絡 申込受付後、「公開講座に関するご案内」を送付します。
- ・ 修了証書 全講座を受講された方に「修了証書」を最終日に授与します。
- ・ 応 募 先 〒882-8508 延岡市吉野町 1 7 1 4 - 1 九州医療科学大学庶務課内
公開講座委員会事務局 宛
TEL 0 9 8 2 - 2 3 - 5 5 5 5 (代)
- ・ 講座会場 九州医療科学大学 F 講義棟
- ・ 駐 車 場 ※駐車場がありますので、ご利用ください。

～九州医療科学大学附属図書館利用について～

本学では附属図書館を市民の方に開放しておりますのでご利用ください。
開館時間：平日9：00～20：00、土日祝日9：00～18：00
(年末年始・8月中旬一定期間、学内行事により臨時閉館することもあります)